

# 家畜と野菜の盗難事件から

さつきクラブ

## ★はじめに

さつきクラブは、「加工食品と手作りの食べ物」シリーズを基調として、“加工食品”として売られているものを“手作り”することによって、いろいろなことを学んで食の安全に目を向けているグループです。2020年度は、食に必要な「野菜」を取り上げ、その大切さを実感したところでした。

しかしながら、今回、新聞 TV の報道で「野菜」が盗まれた……。私たちの大事な食卓にのぼる食材・農作物が次々と盗難にあっていることを知りました。農家や酪農家は手塩にかけて作った野菜、育てた家畜です。今までも高級果実を夜中盗むという事件はありましたが、あまりにも大胆な手口です。日本農業新聞の記事(下段)を読む機会を得たことから、一体何故かという思いを持ち、2020年から今までの新聞記事をたどっていろいろな課題を見つけることにしました。

## ★2020年8月上旬から「大胆な手口」



日本農業新聞 [2020/8/23] 記事より

家畜窃盗は8月上旬、長期にわたって少しずつ盗むことで発覚が遅れる「慎重な手口」から、一度に多くを盗む「大胆な手口」へと変わった。祝日の10日を挟んだ数日間に、群馬県内の三つの養豚農場から計160頭以上も盗まれたのだ。農場が無人になる夜間の犯行は同じだが、一度の大量盗難は朝になってすぐに発覚した。

### トラックで？

連休明けの8月11日午前7時すぎ、農場に出勤してきた従業員が、子豚舎の頭数が昨日より少ないことに気が付いた。「数えたら50頭も足りなかった。8月の初めに出荷前の豚数頭が血を抜かれ、盗まれる被害があったから、盗難だと分かった」と経営者は振り返る。両側に豚房が並ぶ通路には、豚の足跡はなく、従業員のものとは異なる人間の足跡が複数認められた。25センチの自分の足より小さめで、犯人のものと思われるサンダルが豚房に引っ掛かっていた。経営者は「買い手がいたから大量に盗んだとしか思えない」と推測し、「豚房から子豚を抱えて運び出したとしたら、豚の扱いに慣れている。50頭を運ぶには2トントラックが必要。犯人は用意周到で荒っぽい」と分析した後、感情をあらわにした。「地域ではハウレンソウなど露地野菜も被害に遭っている。農家は盗まれ損なのですか」同じ地域にある別の養豚農場も「今は被害に遭っていないが、犯人が捕まっていない以上、いつ盗まれてもおかしくない」と不安を抱えている。

## SNS に投稿

「今春以降、SNS に豚肉や果実を販売する複数の投稿が現れ、盗難事件が報道されると更新されなくなった」と被害農家の一人が言う。見つけた投稿は外国語で記され、女性が室内で豚を解体する写真や動画もアップロードされている。日本国内であれば、食品衛生法やと畜場法に違反している可能性が高いが、盗難との関連は不明だ。ただ豚肉の発送先として群馬や栃木の自治体名が記されていたり、盗難があった自治体の指定ごみ袋が写り込んだりしており、「限りなく疑わしい」と被害農家は思う。豚は牛のような個体識別管理の仕組みがないため、「売られてしまえば犯罪の証拠がなくなってしまう」と焦りを募らせる。群馬県内 10 件の被害届を受理した県警も、これらの投稿を把握している。発信者の特定を急ぎ、広域窃盗との関連を調べているとみられる。

### ★ 事実を知る

上記のことについて「野菜や家畜の盗難事件」について時系列で追ってみました。しっかりと事件の内容を把握しておきたいと思います。

### 2020 年

年月日	場 所	状 況	対 処 方 法
10/17 朝日 新聞	埼玉・群馬・栃木 など北関東中心 エリア 県境にかかる半 径 50 キロ範囲・ 夜人通りの少な くなる畜舎	8 月 豚や牛など の家畜が盗 まれる。 高級果物が 奪われる。	関係者や警察は警戒を強めている。 → 解決には至らない。 大規模すぎるため 農水省が警察の協力を得 て初の防犯ポイントを生産者に通知 そのポイント通知例 ① 豚の血痕が残されているので「刃物を持っ ているため、自ら犯人を捕まえる行為をし てはならない」 農水省の見解 家畜の盗難は、生産者の営農意欲低下や豚熱 (CSF) など家畜の伝染病の流行につながる恐 れがあると考えた。 群馬県警による地道な捜査を続行の理由 グループ犯行・目撃情報が少ない・窃盗の目 的が見えにくい。 豚に慣れているグループで SNS 上での 販売の書き込みを確認 →報道され始めると次々に削除

年月日	場 所	状 況	対 処 方 法
10/17 朝日 新聞	埼玉県春日部市の畜産の例	状 況 :9月、10月に出産を控えていた丸々太っていたヤギ8頭が消えた(32頭中) 身体が大きいので、高く売れると思い狙われた。	
	埼玉県内	状 況 : 8月頃からナシ約13200個の盗難被害	
	群馬県内(高崎市・前橋市)	状 況 : 下記の盗難被害 ナシ約5370個一房・1000円以上の人気の「シャインマスカット」	
	栃木県佐野市	状 況 : モモ約3700個の盗難被害	
	茨城県	状 況 : 果樹園のナシ・リンゴが消える。 2020年度は猛暑で不作 値段が上がったところを狙い撃ちされた。	生産農家としては 防犯カメラや出入口の施錠などの対策をしたが、広い農場を完璧に防犯することは難。 その他のポイント ・機材など盗難に利用されないようにこまめに整理整頓する ・防疫の観点から 石灰配布など消毒を実施する ・防犯パトロールなどの地域の取組の促進
10/26 朝日 新聞	太田市の貸家2棟家宅捜査	状 況 :9月の家畜盗難事件の関連先とみている。 ベトナム人男性2人、出入国管理法違反(不法残留)容疑で逮捕。男女19人が住み込んでいた	
	群馬県	盗難被害 豚676頭 牛2頭 鶏44羽	群馬県警の調査を行った。 やはり3県境、そして半径50キロ範囲に集中している。 被害総額 約3000万円超なので詳細を調べている。
	埼玉県	盗難被害 ヤギ8頭 豚130頭 鶏80羽	
	栃木県	盗難被害 牛6頭	
10/27 朝日 新聞	太田市のアパートの床下から	状 況 :ほぼ原型の鶏肉約30羽分見つかる。	
	埼玉県	盗難被害 ナシ約13200個	生産者より 今後もパトロールを継続
	群馬県	盗難被害 ナシ ブドウ シャインマスカット約9000個	

年月日	場 所	状 況	
10/27 朝日 新聞	栃木県	盗難被害 モモ約3700個	
	茨城県	盗難被害 ナシ・リンゴ	
12/2 朝日 新聞	埼玉県	状 況 : 盗難被害 ほぼ8~9月 ナシ742個 (27万3600円相当) 9/4~5日 ナシ 182個 (リュックに入れる) 群馬県伊勢崎市の集合住宅にて ベトナム人の技能実習生3人を現行犯逮捕した。 ・渡航費として100万円前後の借金がある。 ・仕事がきついため、実習先から失踪していた。 ・お金がなくて帰国できなかった。	



<p>【11/19 朝日】 ベトナム人4名が不起訴となった理由          「豚を切って内臓を食べた」——容認者と否認者に分かれた。          豚の毛は見つからなかった。          客観的証拠なし。          SNS投稿された月日の特定に至らなかった。</p>
<p>【11/21 朝日】 解体用のための包丁3本とバーナー・鍋を、自宅から押収。</p>
<p>【12/3 朝日】 知事の許可も得ず、豚肉などを3人の客に約33000円で販売の疑い。          SNSで客を募り、滋賀県や埼玉県、北海道へ、豚肉や内臓約30キロを冷凍便で送っていた。そのため、食品衛生法違反でした。(無許可営業)</p>

2021年

年月日	場 所	状 況	対 処 方 法
1/19 朝日 新聞	2020年9月 埼玉神川町など	ナシ182個を盗んだ疑い。 ナシをポリ袋に詰め4人で盗んだ。お金がなくて帰国できなかった。	関係者や警察は警戒を強めている。 → 解決には至らない。 犯人追跡困難。

※2021年 2月以降の新聞記事は ありませんでした。



- ③ 貴重価値があるからブランドのある畜産物はその遺伝子が貴重なので、海外・国外でもとても高く取り引きされているため。
- ④ ブランドのない畜産物でもコロナ禍、すぐに現金にしやすいため。
- ⑤ 定職に就くことできない人々がいるから。
- ⑥ 盗んだ後の流通など考えるとプロ集団がいるかと。
- ⑦ 外国人の仕業とっていたら、先日逮捕された犯人は、元生産者だった。本人のモラルの欠如が大きい、コロナの影響もあり生活や収入面での困難が一因とも思う。
- ⑧ 貧しい人がある。
- ⑨ コロナで仕事が無くなり生活が苦しくなったため、盗みやすい、すぐ現金に換えられる物を手に入れようとした。
- ⑩ 防犯対策が緩いこと、販売ルートがあることなど。

ラジオで「ベトナムではお祝いの時に子豚を食べる習慣があり、SNSなどで以前から子豚が売られていて不思議に思っていたが、犯人がベトナム人ということがわかり、まさかという思い、やっぱりという思い、日本でまっとうに暮らしているベトナム人まで風当たりが強くなるので心配だ」というベトナム人の投稿を聞き、悲しくなった。

外国人の犯罪の原因には、日本で生活する外国人の生活苦、将来が見えないこと、仮保釈中の在留資格のない外国人が長期にわたり不安定な立場で正規の仕事に就けないことなどは一例として、日本の在留外国人に対する対応のひどさなどとは関係ないとは言えないと思う。

## II 畜産農家など、防犯カメラなど策を講じていると思われませんが、それでも盗まれています。それ以上何をしたらよいと思いますか？

### 国で考えること



- ① 研修生と、研修生を受け入れた側と、行政との責任問題では？行政側はこれらの問題についてコメントを差し控えるとか？
- ② 警察が本気で取り締まる。背後に外国人の農業研修生の問題などがあるようで解決は簡単ではない。外国人グループの食習慣など、日本の常識とは違う世界に繋がっている。個々の対策では難しい。被害に合った方々は本当にお気の毒。

### 地域で考えること

- ① 大井町では無人の野菜販売所が設置されているが、「防犯カメラで監視中」と書かれているのは盗難防止対策で抑止となっていると思う。しかし、根本的な解決にならないと思うので、(A)手塩にかけて育てる、栽培することの苦勞 (B)生産者が(A)によって収穫した物を販売して生活して

いることを学べる様にする。

- ② 地域でのパトロール・チラシを配る・警察と JA、市町村が連携し、防災センサーやのぼり旗、防災カメラを設置する。収穫物の管理をしっかりとる。作業用腕章・農作業車両に目印のステッカーを付ける。生産者が集まる機会に情報交換する。SNS、広報誌を使う。(ネットで検索)
- ③ 農家の輪番でのパトロールなど。
- ④ 見回りをする。
- ⑤ 生産、流通、販売のシステムにチェック機能や追跡機能を持たせる。
- ⑥ アルバイトを雇うなどして、人の目で警備する。
- ⑦ 犯罪なので、警察の取り締まりを強化してもらう。
- ⑧ パトロール強化・交代で見守り、防柵など。
- ⑨ 山梨県の JA 南アルプス市では「果樹盗難抑止システム」を開発し、一定の効果を上げている。個々で対応するには限界があるので、全国的に成功例を共有していけるシステムがあるといいと思う。農水省では、どのような取り組みを始めているのか。
- ⑩ 地域で自警団を作り見回る。消費者として店舗や販売所以外の路上販売を安価だからと買わない。
- ⑪ 柵で囲む。犬などの動物を使う。
- ⑫ お金はかかるけど、警備会社に依頼して策を講じるのが良い。
- ⑬ カメラ以外にも、施錠できる場所はする、警察にパトロールを強化してもらう、番犬を飼うなどどうでしょうか。被害は早めに気づいて、対応をとるようにする。もっと根本的には、誰もが犯さなくても合法的に収入が得られて安心して生活できる環境、将来の見通しなど、社会がよくなれば。

### Ⅲ この状態が続くと後継者が不足することは、必定です。

その解消には今後どうしたらよいでしょうか

- ① 大井町では盗難よりも獣害といわれる野生動物(イノシシ・シカ等)の被害が多く多発している。そのような経験がたびたびで、結局農業を辞めてしまう人も多く出ている。更に若者達は、手間、ひまのかかる農業を継がず、都会へ出てサラリーマンというケースが多いと聞く。今後は農業・畜産業に携わる人たちが生活できる保障と、消費者の皆さんは生産者の皆さんへ敬意を持つことではないか。
- ② 野菜や家畜の盗難を補償する保険の充実等。(現行の家畜共済は、死亡、廃業、病傷が対象で、盗難は対象外のようなので、現下の盗難事件の増加を受け、対象の拡大が可能なかどうか)
- ③ 盗難事件が起こるために、後継者が不足する訳ではないと思う。防犯カメラの設置→検挙率アップが有効と思う。
- ④ 農業をやってみたい人はいると思うので全く他人でも土地を安く貸して(または売って)ノウハウを教わるなど出来ると思う。
- ⑤ 若者への農業の魅力について、セミナー開催や啓発事業。
- ⑥ 品質改良した農家さんの権利が保護される法整備を進めること。

- ⑦ 生産者を応援するクラウドファンディング等で寄付を募る。
- ⑧ 政府が本気で取り組む。国民もしっかり意見を持つ。農業高校など専門教育をしっかりして卒業生を後継者に育てる。会社の仕組みの中に入れる。
- ⑨ 人間や社会の関わりが下手な若者が増えているので、そういう人たちの働く場所になればいいと思う。
- ⑩ もっと外国人労働者に門戸を開き働いてもらう。(どのような制限があるかわからないが)他業種の企業参入を積極的に促す。
- ⑪ いざという時の保険制度を作る(既にあるのでしょうか) 大事な食糧の問題、日本中どこでも起こりうる問題なので、企業、大学などと力を合わせて、日本の最先端の知恵を駆使して何か考える。
- ⑫ 難しい      わからない      3件

IV この盗難事件とは関係ないとは思いますが、野菜などの品種改良をしても特許制のため、その費用も掛かります。そのため改良中の野菜などが、海外に流出して利用されて売りに出される事例も多くあります。これを防止するにはどうしたらよいとお考えですか？

- ① 種子の売買(農家は収穫した後、種子を大事にして次年度の栽培に備える)について、規制があまり厳しくないと聞く。固有の品種や在来種を守るために、また生態系を維持するために法律などを整備すべきと考える。大井町の植生も外来種に代われ、田園風景(里山)が失われつつある。
- ② 行政・政府が厳しく輸出禁止をする。
- ③ 海外への流出は税関でしっかり検査することが重要。今以上に厳格に検査する。
- ④ JA等の機関による特許申請への援助など。
- ⑤ 日本で品種登録したものが海外でも有効になるよう、条件など整備するしかない。
- ⑥ 法律で取り締まる。(罰則を設ける)
- ⑦ このような事例があることを初めて知った。
- ⑧ 流出した国に対して交渉していくしかない。
- ⑨ 個人レベルでは費用など難しい。国が対策すべき問題だ。
- ⑩ 特許をとらなくても市場に流通させる仕組みを作れないか。
- ⑪ 法整備、農家さんへの援助と保護。
- ⑫ 生産者だけでは難しい。国や行政が実情を知り、規制緩和や補助金制度を作るべき。
- ⑬ 国のIT戦略の中にしっかり組み込んでもらわなければ難しい。それよりも日本全体の農業、世界の人口問題など地道な取り組みが大切だと思う。
- ⑭ 特許は時間もかかるので早く特許が出るだけでもよいと思う。
- ⑮ JAだけでなく、国の研究機関も積極的に取り組み、罰則を強化し、日本の宝を守る努力upする必要がある。
- ⑯ 種苗法が改正されて品種登録審査がすすむという記事を読んだが、国としてはそれで今までより守られるということなのではないでしょうか。

地方自治体など、身近なところですぐ特許の相談ができて、費用も共同出資か公費で

負担するなどであればよいのでしょうか。（既にあるのかも?）

そして、開発する場合は、企業の新製品開発部門のように、秘密保持にそれなりのコストをかけるしかないように思える。

（関係ないですが、種苗法については、グローバルな株式会社に種子資源を依存することになるのではないかと、種子の値段が上がったり、輸入が止まったらどうなるか、地域にあった多様性が失われるのではないかなど、いろいろ不安に思います。）

その地——生協・宅配・畑の産直・直売所・家庭菜園・知り合いから無農薬野菜を送ってもらっている・自然食品店など

## ★ ところで、私たちはなにをすればいいでしょう



いろいろな課題が見つかりました。盗難事件はいろいろな方面からの対策を講じる国や地域よりあらゆる側面より追跡していくことが肝要です。確かにこのような事件が多いと若い後継者は嘆き、お手上げ状態です。企業 大学 地域との連携を駆使して考える農業もあります。

今後世界の人口がますます増え、食糧不足が懸念されます。日本の食料自給率は 38%(カロリーベース・令和元年)で農家は大切な存在です。若者が農業に従事してくれるとありがたいですが、現

状は厳しいものがあります。せめて今頑張っている農家を守り、大事にしたいです。

## ★頑張っている人たちもいます。

### 「ひとつぶ農園」

脱サラして、農業。元は広告デザイナーでしたが、管理職になると、現場を離れなければならないことが嫌で転向しました。埼玉県ときがわ町で栽培しています。仲間のグループがあり、特別セールをしたり、移動販売もしたり大忙しです。野菜セット宅配もあります。野菜の一部を小規模ですが、市内の庭先で販売して、地域の人々に提供しています。

### 新しいタイプの八百屋さん 「緑町マーケット」

固定の店にこだわらず、ガレージなどで。「市場を通して安心・安全なものを買います。」移動販売や配達もしています。仲間がいて、入手・商品の融通(食堂をやっている人がいて、食材として使うなど)も心がけています。

## 日本の「GAP 認証」の基準や規格づくりや普及に努力

東京五輪・パラリンピックの選手村で提供される食事は、一日 5 万食近い。食材は「GAP」認証で取った農場で生産されています。農畜産物は、農薬の適正使用や保管、作業中の安全など持続可能性のある農業に取り組む「GAP」認証をとった農場で生産されることになっています。17 年前、大手商社を辞めて、「GAP」の存在を知り、志を持つ生産者や卸、流通業者などとともに 2006 年「日本 GAP 協会」を設立しました。国内の認証工場は、2021 年 3 月には延べ 8000 超に。消費者の認知度は、まだ低いです。

G. A. P. (ギャップ) とは、

GOOD (適正な)、AGRICULTURAL (農業の)、PRACTICES (実践) のことです。

GAP は単に農薬の使用回数を減らすとか、化学肥料を使わないというようなものではなく、農業が環境に与える負荷や農場で働く人の安全管理や労務体制など、農業生産に関わる全般の生産工程管理における取り組みをさしています。GAP は当然のことながら第三者の認証を受ける必要があります。



登録番号 123456

## 終わりに

私たちの大事な野菜・お肉が無くなってしまふ。

大げさかもしれませんが、消費者としての声です。

まず、育てているものがとられませんように

外国の人たち、実習生も気持ちよく携われますように

確かな流通が行き渡りますように

農業や畜産業が発展しますように

明るい未来に向かって、考えていかなければと思います。

食の安全が第一です。

生産や流通、消費を含めてあらためて、考えていくことが大切です。

